

2019年度 日本リトルシニア 第48回関西連盟中国支部 春季中国大会

大会要綱

| | |
|---------|---|
| 主 催 | 一般財団法人 日本リトルシニア中学硬式野球協会 関西連盟中国支部 |
| 協 賛 | 株式会社ハークスレイ（ほっかほっか亭中国各店舗）、ゼット株式会社 |
| 期 日 | 平成31年3月21日（木祝）、23日（土） 予備日：3月24日（日）、4月6日（土）、4月7日（日） |
| 場 所 | 絆スタジアムほか |
| 競 技 方 法 | 関西連盟大会規定を採用する。（一部、大会特別規定を採用） トーナメント戦（三位決定戦を行う） |
| 大 会 副 賞 | 【大会出場権】優勝チーム：林和男旗全国国際大会（東北連盟） 7月末開催 【シード権】 ベスト4：日本選手権中国大会 ※5月中旬開催 （入賞順位によりシード枠番号は異なる） |
| 開 会 式 | ありません |
| 閉 会 式 | 期：平成31年3月23日（土）：決勝戦終了後（14:00 予定） 於：絆スタジアム |
| 参加チーム | 日本リトルシニア関西連盟 中国支部加盟リーグ：6チーム（地区大会一位～三位） |

| | |
|---------|---|
| 抽 選 会 | 実施せず（各地区大会の上位3チームによる順位制） |
| 参 加 費 | 大会規定額を納入（期日までに中国支部の口座に振込） |
| 試 合 球 | ゼット（シニアリーグ公認球）試合ごとに4球 |
| 審 判 員 | 全試合：本部審判員4名（各チームからの派遣なし） |
| 参 加 要 件 | <ol style="list-style-type: none"> 本大会に出場できる選手は中学二年生までとし、日本リトルシニア野球協会が発行する選手・指導者カードの所持者のみ、ベンチ入りを許可する。※仮カードは不可（但し、スコアラー1名は除く） ベンチ入りできる選手は25名までとし、背番号は1～25番までとする。 専用球場を保有するチームは、当該試合の有無に関わらず、本大会の試合会場として協力できること。 本大会に参加する選手（指導者含む）ならびにチーム関係者は、全ての試合においてスポンサー弁当（@600円）を注文すること。（但し、一部球場を除く） |

競技要項（大会特別規定）

- 1 ベンチは若番が一塁側。ロージンは後攻チーム、ボールボーイは両チーム2名とする。（ボールボーイは原則ベンチ入り選手とする。）
- 2 本大会の審判員は、全て本部審判員にて行う。
- 3 各球場のグラウンドルールは、試合開始前に各会場の責任審判員により説明を行う。
- 4 試合は7回または2時間制とし、5回をもって試合成立とする。（5回までは2時間超えても試合を行う）なお、試合成立後の延長戦は行わず、即タイブレーク（最大3回：1アウト満塁）を行い、なお同点の場合は最終出場メンバー（18名）による抽選にて勝敗を決定する。
※第4項の詳解は別紙を参照。
- 5 5回以降7点差および4回以降10点差をもってコールドゲームとする。（但し決勝戦は除く）
- 6 メンバー交換は前試合3回終了後、大会本部が指定する場所にて、事務局長・監督・選手が集合し、所定のメンバー表（5部）を提出し、担当審判員並びに本部役員立ち会いのもと、ベンチ入りメンバーを照合のうえ、先攻後攻を決定する。
- 7 道具チェックは、シートノックタイム中に、当該試合の審判員にてベンチの外で行う。
- 8 試合前のシートノックは7分間とし、ノック時のボールボーイは必ずヘルメットを着用する。
なお、天候によってはサイドノックに変更する場合もある。（原則、各補助員は登録選手に限る）
- 9 原則、試合前のアップはフィールド内を使用しないこと。但し、外野フィールドにおいてはアップシューズ着用に限り、アップやキャッチボールを認める。（ノックやトスバッティングは禁止）
- 10 次試合チームの先発バッテリー1組に限り、4回終了以降、ブルペンに入って投球練習を行うことが出来る。（但し、ブルペン入場は、試合進行を妨げないよう細心の注意を払うこと）
- 11 ブルペン捕手は、スタンディングの場合であっても必ず防具を着用（特にキャッチ面）し、捕手の安全を守る保護選手を1名帯同させること。（保護選手も必ずヘルメットを着用すること）

その他の注意事項

- 1 各チームは、会場到着後、速やかに大会運営本部が指定する受付手続きを行うこと。
- 2 各チームは、当日の試合が全て終了し、会場を退出する際は、大会運営本部が指定する退場手続きを行い、「次回指示書」を受け取ること。
- 3 各チームの放送係は、第1試合の試合開始40分前までに必ず名札を付けて待機しておくこと。
- 4 審判へのお茶出し及び次試合のメンバー交換を促すアナウンスは行わない。
- 5 試合成績表の記録者は、名札を付け予備球を持って記録室に入室のこと。
- 6 各チーム応援団は、鳴り物やメガホン2本を叩いたり、球場器物を叩いての応援を禁止する。